

参考 2 事業調書（抜粋）

San·En·Nanshin Area Relationship Vision Progressive Conference

具体的事業 No	2-(1)-③
名称	三遠南信ロードマップの発行
重点プロジェクト	2 三遠南信圏民の一体感醸成プロジェクト (1) メディアや広報紙、SNS を活用した地域内情報の共有・浸透
実施主体	SENA

1 目的

三遠南信地域の観光情報や地域資源情報の発信を行うと共に、三遠南信自動車道の建設促進に向けた機運の醸成のため、三遠南信ロードマップを発行する。

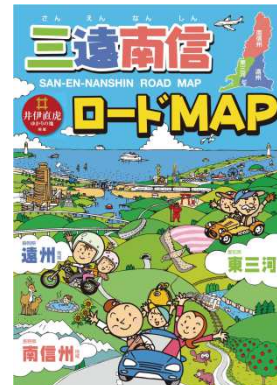
2 背景

三遠南信自動車道の建設や自立性の高い地域づくりを、地域一体となって推進するために、全体の観光情報や道路図をとらえた媒体を活用した機運の醸成が必要である。

3 事業内容

三遠南信地域全体の道路図、三遠南信自動車道の開通状況、ストック効果、地域の観光情報等を掲載した三遠南信ロードマップを発行する。

また、SENA 構成員を通じて地域内に配付する。



4 今後の見通し

年度		今後の見通し
H31	2019	三遠南信ロードマップの発行
H32	2020	〃
H33	2021	〃
H34	2022	〃

具体的事業 No	3-(2)-②
名称	SENA 実証実験・トライアルサポート事業（新）
重点プロジェクト	3 地域の稼ぐ力強化プロジェクト
	(2) 新技術の利活用や新産業の創出・集積
実施主体	SENA、関連事業者

1 目的

新産業の創出・集積に向けて、IoT やフィンテック、ビッグデータ、人工知能（AI）などの技術革新を地域に取り込むことで、全国共通の社会的課題から地域特有の課題に至るまで、その解決を目的とする地域内外の事業者のスタートアップのためのトライアル事業を支援するとともに、SENA が自ら実施する社会実装のための実証実験を行う。

2 背景

三遠南信自動車道の整備の進展やリニア中央新幹線の一部開通に伴う広域経済圏の確立、国内外のインバウンド需要を取り込む広域観光連携の推進、人口減少が進む中山間地域の活性化など地域の重要な課題に対して、IoT やフィンテックなどに通じるベンチャー企業等と連携することで、新技術による新たな解決手法の地域への導入が期待されている。

3 事業内容

三遠南信地域での実証実験希望する企業から実証実験事業の提案を募り、審査の上、支援する事業を決定する。支援は、実証実験フィールドの提供・あっ旋、地域内市町村等との調整などを想定。

なお、各年度でテーマを設定し、それに沿った実証実験を募集する。

<テーマ>

1年目 地域通貨、キャッシュレス

2年目 オープンデータ

3年目 周遊観光

4 今後の見通し

年度		今後の見通し
H31	2019	事業スキームの構築 実証実験・サポート事業のモデル実施
H32	2020	実証実験の検証、実施
H33	2021	〃
H34	2022	〃

具体的事業 No	4-(3)-①
名称	三遠南信ツーリズム推進事業（新）
重点プロジェクト	4 三遠南信探訪プロジェクト
	(3) 自然資源や文化遺産を活用した観光客誘致
実施主体	SENA

1 目的

三遠南信地域への観光客の誘致のため、自然資源や文化遺産、インフラ等の観光資源の調査や体験型プログラムの開発を行い、観光客が周遊できる仕組みの検討を行うと共に情報発信を行う。

2 背景

三遠南信地域には天竜奥三河国定公園や南アルプス国立公園などの自然資源、花祭りや霜月祭などの無形民俗文化財、中央構造線や鳳来寺山などの天然記念物等、多くの文化財を有する。また、平成 28 年（2016 年）に訪日外客数が 2,000 万人を突破し、観光庁の策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」では平成 32 年（2020 年）の訪日外客数の目標値を 4,000 万人とするなど、高まるインバウンド需要を三遠南信地域に取り込むことが必要である。

3 事業内容

- ①観光資源の調査
- ②体験プログラムの開発
- ③「三遠南信”こと”ガイド」を通じた情報発信

4 今後の見通し

年度		今後の見通し
H31	2019	三遠南信地域内の観光資源の調査
H32	2020	体験型観光プログラムの開発
H33	2021	「三遠南信 “こと” ガイド」の検討
H34	2022	「三遠南信 “こと” ガイド」の作成

具体的事業 No	5-(1)-③
名称	おいでんスタンプラリー事業
重点プロジェクト	5 中山間地域が輝くプロジェクト
	(1) 県境地域での観光振興や交流連携事業の推進
実施主体	愛知・長野県境域開発協議会

1 目的

長野県と愛知県の県境域に位置する構成 5 町村（阿南町、売木村、天龍村、根羽村、豊根村）にある公共施設に、多くのお客様が訪れて地域の魅力を存分に味わい、リピーターとして定着してもらうために、スタンプラリースポットを設置する。

2 背景

愛知・長野県の県境に接する市町村が、相互の情報交換や交流を通じて開発・振興を図ることにより、県境という地理的条件を克服して新しい地域づくり、山村づくりを目指し、愛知・長野県境域開発協議会を昭和 52 年（1977 年）に設置した。

協議会内に、道路交通部会、産業振興部会、住民交流部会を設置し、それぞれ活動を行っている。

愛知・長野県境域開発協議会の参加者は、長野県下伊那郡阿南町、売木村、天龍村、根羽村、愛知県北設楽郡豊根村の 5 町村（平成 30 年（2018 年）4 月 1 日現在）

3 事業内容

5 町村の指定施設を訪れスタンプを収集する、スタンプラリーを開催し、参加者に 5 町村を周遊してもらい地域ごとの魅力を堪能してもらう。

なお開催については 5 町村で検討の上、決定する。

4 今後の見通し

年度		今後の見通し
H31	2019	スタンプラリーの開催
H32	2020	〃
H33	2021	〃
H34	2022	〃

具体的事業 No	5-(4)-①
名称	水源林保全のための流域共同活動（新）
重点プロジェクト	5 中山間地域が輝くプロジェクト
	(4) 中山間地域の森林の保全や森林資源の活用の促進
実施主体	関係市町村

1 目的

三遠南信地域における上下流域の連携した住民協働による森林保全を行うことにより、持続可能な森林経営を目指すと共に地球温暖化抑止や土砂災害防止、水源涵養を図り、市民生活や産業の安定につながる水の安定的な供給を図る。

2 背景

SDGs(持続可能な開発目標)について、国は優先課題の1つとして「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」を掲げており、その目標を達成するためには行政・住民・企業が連携した森林経営を行う必要がある。

また、国は森林整備やその支援等に充てることを目的とした森林環境税を導入することに先立ち、平成31年(2019年)度から市町村に森林環境譲与税を譲与することとなり、具体的な用途については各市町村で検討する必要がある。

3 事業内容

- ・森林整備(植林、下刈り、除間伐)の支援
- ・人材育成、担い手確保
- ・木材利用の促進や普及啓発
- ・圏域内の住民意識醸成
- ・水源林保全協定の検討
- ・住民協働による森林づくり活動 など

4 今後の見通し

年度		今後の見通し
H31	2019	広域連携による流域共同活動の可能性検討(森林環境譲与税の譲与開始)
H32	2020	広域連携による流域共同活動の実施
H33	2021	〃
H34	2022	〃

具体的事業 No	6-(4)-③
名称	磐田市と駒ヶ根市の友好都市交流
重点プロジェクト	6 住むなら三遠南信プロジェクト
	(4) 県境を越えた住民交流機会の創出
実施主体	磐田市、駒ヶ根市

1 目的

磐田市・駒ヶ根市の両市で各分野にわたって友好交流を広げ深め、友好交流事業の推進を図る。

2 背景

磐田市と駒ヶ根市は、約 700 年前から伝わる悉平太郎（しっぺいたろう）の伝説が縁で、古くは鎌倉時代より民間主導で友好交流が進められていた。

1967 年（昭和 42 年）には両市共に友好促進が強く要望され、友好都市提携の調印が行われた。

また、災害時には相互応援を行う災害時相互応援協定を平成 7 年（1995 年）に締結した。

3 事業内容

以下のイベントの際に、行政職員を中心に相互交流を行う。

- ・いわた大祭り（磐田市）
- ・見付天神裸まつり（磐田市）
- ・天竜かっぱ祭り（駒ヶ根市）

4 今後の見通し

年度		今後の見通し
H31	2019	交流イベント等の実施
H32	2020	〃
H33	2021	〃
H34	2022	〃

具体的事業 No	7-(1)-⑥
名称	三県域所長情報交換会
重点プロジェクト	7 人生100年時代プロジェクト
	(1) 地域内の学生や行政職員等の交流機会の創出・拡大
実施主体	愛知県・長野県・静岡県

1 目的

愛知・長野・静岡の県境を接する地域を所管する県の地域振興（企画）担当の各事務所が、行政情報や産業・経済・観光等の動向把握と県境を越えて取り組むべき施策等について意見交換を行う。

2 背景

三遠南信地域の連携の取組を推進するため、平成7年（1995年）度から、長野県南信州地域振興局、愛知県東三河総局・新城設楽振興事務所、静岡県西部地域局の3県4事務所が参画し情報交換会を開催している。

3 事業内容

毎年1回会議を開催し、広域連携の展開に向けて、共通課題となるテーマを設置し、意見交換を行っている。

これまでに、三県が連携して三遠南信周遊マップを作成するとともに、広域周遊観光施策展開（広域周遊ルート作り）に向けた検討を行ったほか、名古屋圏の観光エージェントを合同で訪問しセールスを行うなど観光連携に取り組んでいる。また、各県域における移住・定住の取組についての情報交換と課題の共有を行っている。

4 今後の見通し

年度		今後の見通し
H31	2019	情報交換会の開催（長野県）
H32	2020	情報交換会の開催（愛知県）
H33	2021	情報交換会の開催（静岡県）
H34	2022	情報交換会の開催（長野県）